

教科	家庭	科目	消費生活
年次	3年次・専情	単位数	2
教科書	『消費生活』 文部科学省		
科目目標	・人生を「よりよく生きる」ために必要な「消費者」としての知識を身につける。 ・持続可能な社会の形成のために自分でできることを考え実践できるようになる。		

期間	教科書範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考查	P 3～ P 18	・社会を支える消費者 ・消費者被害と消費者の権利・責任	・経済社会の変化と消費生活について理解できるようになる。 ・消費者問題の発生や背景について理解できるようになる。 ・被害の防止方法を理解し、実践できるようになる。 ・消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解できるようになる。	・ワークシート ・レポート ・ロールプレイング ・定期考查
～前期期末考查	P 119～ P 150	・環境と消費者 ・テーマ研究	・持続可能な消費生活の在り方について理解できるようになる。 ・SGDs(持続可能な社会)のために消費者としての取り組みについて調べ、自分の意見をスライドにまとめ、発表できるようになる。	・ワークシート ・レポート ・スライド ・定期考查
～後期中間考查	P 83～ P 86	・消費者契約と法	・消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解できるようになる。 ・具体的な事例を通して、トラブルに巻き込まれない消費生活を送るための知識と技術を習得できるようになる。	・ワークシート ・レポート ・定期考查
～後期期末考查	P 30～ P 57	・消費生活の安全と自由	・消費生活の安全と自由を確保するために必要な情報活用能力を身につけることができるようになる。 ・消費者として主体的に判断する上で必要な知識等について理解できるようになる。	・ワークシート ・レポート
～年度末		・1年間のまとめ テーマ研究	・1年間の学びの総復習として、商品や消費者支援について調べ理解を深めることができるようになる。	・ワークシート ・レポート